

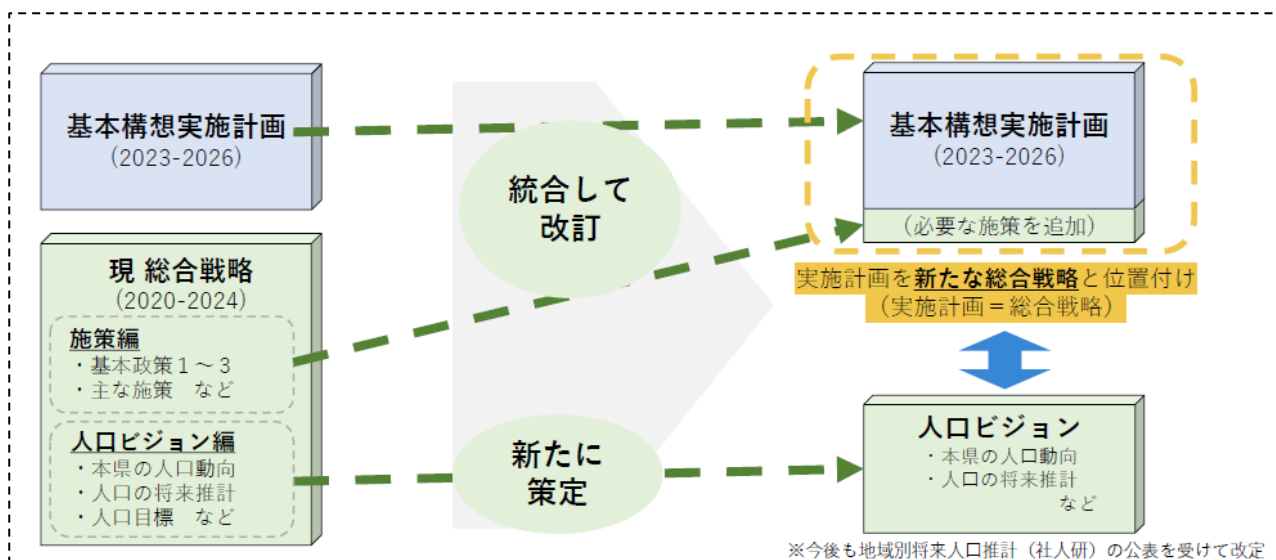
総合戦略の改定（最終案）について

概要

「人口減少を見据えた未来へと幸せが続く滋賀 総合戦略」については、今年度末をもって終期を迎えるところですが、人口減少を取り巻く状況が大きく変化するなか、国の総合戦略の改定や昨年末に国立社会保障・人口問題研究所が発表した将来人口推計の内容を踏まえ、計画の終期を待たずに「総合戦略」を改定し、新たな「人口ビジョン」を策定するとともに県の最上位計画である「基本構想実施計画」についても一部改訂を行います。

なお、素案については、令和6年3月の総務・企画・公室常任委員会および地方創生・子ども政策推進対策特別委員会において報告しております。

今後、6月定例会議の常任委員会および特別委員会で説明させていただく予定です。



素案からの主な変更点

【人口ビジョン】

国所管の統計（「人口推計」「人口動態統計」）が公表されたことを受けての数字・図表の更新

【基本構想実施計画】

頁	最終案	素案	変更理由
14	●子どもや若者と関わり合い、その成長を支える取組を進めるとともに、 <u>子どもや</u> 子育て家庭への応援に主体的に取り組む団体・事業者等を <u>増やし</u> 、社会全体で子どもを育てる環境づくりを推進する。	●子どもや若者と関わり合い、その成長を支援する取組や子育て家庭への応援に主体的に取り組む団体・事業者等を <u>支援し</u> 、 <u>機運の醸成を図り</u> 、社会全体で子どもを育てる環境づくりを進める。	特別委員会での「気運醸成では弱いのでは？」という趣旨の御意見を踏まえ、“支援”から“増やす”に変更。
15	● <u>子どもの目線に立ち、一人ひとりの思いに寄り添いながら、不登校などの子どもの状態に応じた学びの機会と居場所の確保を図り、生きる力を育てるために必要な支援を進める。</u>	● <u>(不登校の子どもへの支援(学びの保障と居場所の確保)について策定中の計画に沿った取組を追加)</u>	素案段階で保留としていた表現の確定。

その他、所要の修正を行った。